

1 事業概要

		課名	危機管理室	事業No.	261
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			第11次消防力（消防団）整備計画	
	法令・例規等			消防法	
				動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令	
事業目的	対象	市民の生命と財産及び消防団員			
	意図	地域防災力向上につなげるため、よりよい機関機材の更新整備及び耐震貯水槽の適正配置			

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容				事業費(千円)
	・第11次消防力（消防団）整備計画に基づき、車両更新（消防自動車：松尾）（小型動力ポンプ付積載車：時又・立石）（多機能型小型動力ポンプ付積載車：飯沼上・柏原・北方※大瀬木と配置換え）整備を行いました。耐震貯水槽は用地買収持越しにより1基を取止め、また1基を工程調整により繰越としました。 ・消防団における人材育成として、応急手当普及員の資格取得や同資格再講習の受講などを積極的に推進し、継続的な消防体制強化を図りました。 ・水災害による浸水現場対応として、救助用ボートの配備を行いました。	多機能型小型動力ポンプ付積載車(2台) 28年繰越分				
消防自動車更新(1台)						14,473
小型動力ポンプ付積載車(2台)						17,800
多機能型小型動力ポンプ付積載車(1台)						13,820
救急訓練用ダミー・救助用ボート等						1,019
詰所修繕料						1,202
消火栓表示業務委託料						224
その他の経費						260

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			実績	実績	実績	実績	実績
	耐震貯水槽	基	0	0			
	車両更新	台	0	6			
	救急訓練用ダミー	体	1	1			
	救助用ボート	艘	1	1			

29年度決算(千円)	予算額	91,556	特定財源内訳及び補足事項				
	財源の状況	決算額	76,338	(地) 緊急防災・減災事業債(充当率100%)			
国庫支出金		0	(そ) コミュニティ助成事業補助金1,000千円				
県支出金		0	(そ) 諸収入180千円				
地方債		70,000	28→29 繰越明許費27,540千円				
その他		1,180	29→30 繰越明許費4,860千円				
一般財源		5,158					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	9	1	3	11	2	88,651	74,847	消防体制強化整備事業費(単独)
2	1	9	1	3	11	3	1,600	1,202	消防団詰所整備事業費
3	1	9	1	3	11	5	1,305	289	消防用施設整備事業費
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	・第11次消防力（消防団）整備計画に基づき消防車両等の更新を進めていますが、道路交通法等の改正により普通免許で運転できる範囲が限定されたため、近い将来準中型免許の取得が必要となる事態が想定されます。 ・消火栓表示作業は作業単価が高騰したことにより実施箇所数が減少しています。
上記の課題解決のための有効策	普通免許で運転可能な車両の研究（車両の軽量化）や準中型免許取得に係る費用負担について検討します。
次年度に向けての取り組み	車両更新における積載品については、消防団員が扱いやすい消防資機材などを研究しながら配備を進めます。また、人材育成として、応急手当普及員の資格取得や同資格再講習の受講などを積極的に推進し、継続的な消防体制強化を図ります。